

▽地域の明日を拓く△

KGR
HARMONY

活躍の場を求めて、 岩手に拾ってもらった。

▽鉄器と楽器の融合

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は岩手県奥州市水沢羽田町という鑄物の町で、エレキギターなどで使う楽器、エフェクター（音色を変化させ音を彩る楽器）を中心に製作・販売する合同会社福嶋圭次郎の代表を務めております福嶋圭次郎と申します。

弊社の特徴としては、岩手県の伝統工芸品である南部鉄器をエフェクターの筐体かぶたに採用し、伝統工芸品の風合いと電子楽器が融合した今までにない「南部鉄器エフェクター」というものを作っております。

私は神奈川県横浜市で生まれ、32歳まで横浜に住んでいて、約2年前に南部鉄器でエフェクターを作りたいと思い岩手県に移住、いわゆるI（アイ）ターンをして、会社を起こし活動しております。

▽南部鉄器への関心と出会い

横浜にいたときは、家業の米屋の仕事をしながら、趣味の範疇でエフェクターの製作をしていました。私は勉強ができるわけでもなく、人より秀でたところもなく、ただちよつとエフェクターが作れる程度の電子回路の知識があつたくらいでしたが、エフェクター製作がとても好きで、特に、製作時の僅かな変化による音色の変化に対してとても興味がある様な、多くの人からすると変わっている人間です。日々色々な実験をして、あーでもない、こーでもない、独自の音色の研究をしていました。

そんなある日、テレビで南部鉄器の特集をしていました。その中では「南部鉄器でお湯を沸かすと白湯がまるやかなになるんですよ」と言っていて、そういった変化にとっても興味があつたので、食い入るように見ていました。

すると今度は「これ音も違うんですよ」と言ったの聞いて、さらに噛み付くようにテレビをみていました。確かに南部鉄器の音色はとても心地よく、この音色の作り方を知りたいと強く思うようになりました。

それから1年くらいが過ぎた頃、何者かになりたいと願いながらも変化を起こせない、そんな自分に嫌気がさし、色々な状況が重なり、生活を一新させたいと思い日本各地を回ってみました。岩手にも訪れる機会があり、あのテレビ番組を見て以来ずっと興味があつた南部鉄器の工房を見学しにいきました。

そして奥州市水沢で南部鉄器を製造販売している株式会社及富さんを訪れた時です。溶かした鉄を型に流し込む作業（吹き）を見せてもらい、その熱量を浴びて思わず、自分が楽器を作っていること、自分が居場所を求め旅をしていることを話してしまいました。す



合同会社福嶋圭次郎
(奥州市)
代表社員

福嶋 圭次郎

ると、「うちで作ってみるか?」と、考えてもいなかったお誘いをいただき、僕はその場で「やらせてください」と返事をして、そのことが決め手となり、岩手県への移住を決意しました。

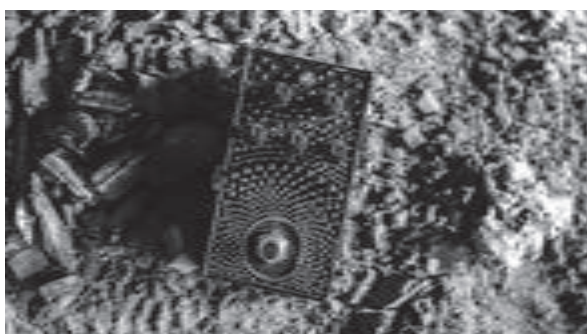
▽南部鉄器エフェクター「あられ」の誕生

そんな偶然が重なり、2019年7月から岩手県で「南部鉄器エフェクター」を作るという新たな生活が始まりました。

移住をしてから及富さんの工場の一角を借りし作業場にさせていただき、南部鉄器に興味はあったものの、その製法は全く知らず、毎日工場を見学させていただき、鉄器の作り方の勉強が始まりました。また、奥州市水沢にはいくつもの鋳物屋さんがあり、町の中には「鋳物技術交流センター」があつて、そこで短期間ですが鋳造を学ぶカリキュラムが揃った研修を受講することができました。

鋳物の勉強をしつつ、自分のイメージする「南部鉄器エフェクター」の形をどう作るのか考え続けながら事業開始の準備に動き、その時を振り返ると成功に向け必死の思いでした。

そして、たくさんの方々のご協力により、2020年1月に南部鉄器とエフェクターが融合した「あられ」



南部鉄器エフェクター「あられ」とその製作の様子

という商品の発売にこぎつけることができず。発売前にはクラウドファンディングで広告とともに先行販売をしたり、岩手県内メディア様の協力を得てたくさんの方の宣伝をしていただき、スタートを切ることができました。横浜にいた時は、メディア様との繋がりがなくて一切なかったのに、こんなにも周りの方々が協力してくれたのは初めての経験でした。

▽世界へ、岩手も自分も輝いて

岩手県に来てから強く思うことは、頑張っ

移住に関して多くの方は驚かれますが、私

自身としては、現在独身ということもあり、ハードルは低い様に感じました（もちろん慣れない環境の変化もあります）。これからは、オンライン化や通信のインフラがより整い、コンテンツさえ構築していけば、場所を選ばず生活していけるのではないかと考えています。

南部鉄器とエフェクターとの融合のアイデアの可能性を考えていた時、国内だけでなく、海外へも展開したいと思っていました。海外では「和」ブームはより強まっています。SNSが盛んな中、日本通な人でなくてもその情報は届けられると思います。現在、弊社もSNS（インスタグラム）を使い、世界中の方に向けて発信・販売をさせていただいております。

地方から直でグローバルへ。世界が驚く文化はまだ地方にはあつて、今は、世界中のどこにいても、オンラインで繋がれる時代です。外の風景を見て、「いいなあ」と、ただ思うのではなく、自ら発信して、反対に「岩手は良いところだ」、「岩手はカッコいい」と言われていく様な活動をこれからもしていきたいと思っています。そんな岩手に恩返しができるように、自分が輝くこともっとも地域貢献につながるのではないかと考えております。

※写真は、奥州市在住の写真家・ビデオグラファー菅原結衣さんよりご提供いただきました。